

2012年11月号  
No.517

# りゅうぎん調査

2012年11月号

Bank of the Ryukyus'  
Okinawan Economic Review

No.517



琉球銀行



りゅうぎん総合研究所

## 県内の景気動向

概況（2012年9月）

景気は、緩やかに回復している

観光関連では、入域観光客数が前年を下回る

建設関連では、公共工事請負金額が前年を上回る

9月の県内景気をみると、消費関連では、スーパー（既存店、全店）が前年を上回り、新車販売はエコカー補助金制度の効果などにより引き続き前年を上回った。建設関連では、公共工事が引き続き前年を上回ったが、建設資材関連は、台風の影響などから前年を下回った。観光関連では、入域観光客数は、台風の影響により国内客が減少したことなどから引き続き前年を下回った。主要ホテルも台風の影響などから稼働率、売上高ともに引き続き前年を下回った。

総じてみると、観光関連は持ち直しの動きが一服したものの、消費関連は堅調な中、一部で弱含みとなり、建設関連は持ち直しとなったことから、県内景気は緩やかに回復している。

### 消費関連

百貨店売上高は、食料品は増加したものの、台風の影響から衣料品などが減少し2カ月ぶりに前年を下回った。スーパー売上高（既存店）は、衣料品は減少したものの、旧盆の時期が9月にまたがり分散したことから食料品などが増加し5カ月ぶりに前年を上回った。全店ベースでは新設店効果などから2カ月連続で前年を上回った。新車販売は、エコカー補助金制度の効果などから12カ月連続で前年を上回った。電気製品卸売販売は、地上デジタル放送に完全移行後、テレビの減少が続いていることなどから14カ月連続で前年を下回った。

先行きは、堅調な中、一部弱含みの動きが続くものとみられる。

### 建設関連

公共工事請負金額は、市町村が大幅に増加したことなどから5カ月連続で前年を上回った。県内主要建設会社の受注額は、公共工事、民間工事ともに減少し、2カ月ぶりに前年を下回った。建設資材関連では、生コン、セメントは台風の影響などから2カ月ぶりに前年を下回った。鋼材は、単価の下落などから5カ月連続で前年を下回った。木材は、前年の反動などにより2カ月連続で前年を下回った。

先行きは、持ち直しの動きが続くものとみられる。

### 観光関連

入域観光客数は、国内客が減少したことなどから、8カ月ぶりに前年を下回った。県内主要ホテルは、台風によるキャンセルなどの影響から、稼働率、売上高ともに前年を下回った。主要観光施設入場者数は2カ月連続で前年を下回った。ゴルフ場は、入場者数、売上高ともに前年を下回った。

先行きは、持ち直しの動きが一服するとみられる。

### 雇用関連

新規求人数（8月）は前年同月比19.6%増と10カ月連続で増加し、有効求人倍率（季調値）は0.42倍と前月より上昇した。完全失業率（季調値）は6.1%と前月から0.2ポイント悪化した。

### その他

消費者物価指数は、食料、交通・通信などの下落により、前年同月比0.6%減と4カ月連続で前年を下回った。企業倒産は、件数が8件と前年同月と同数となり、負債総額は5億7,800万円となり同84.2%の減少となった。

# りゅうぎん調査(2012年9月)

増減率(%)

	前年同月比	前年同期比 (2012.7 - 2012.9)
<b>1.消費関連</b>		
(1)百貨店(金額)	4.1	3.2
(2)スーパー(既存店)(金額)	2.5	1.6
(3)スーパー(全店)(金額)	5.8	1.8
(4)新車販売(台数)	2.7	16.8
(5)電気製品卸売(金額)	5.0	15.5
<b>2.建設関連</b>		
(1)公共工事請負金額(金額)	10.2	17.4
(2)建築着工床面積(m <sup>2</sup> )	(8月) 17.3	(6-8月) 0.1
(3)新設住宅着工戸数(戸)	(8月) 14.5	(6-8月) 12.1
(4)建設受注額(金額)	16.1	8.7
(5)セメント(トン数)	14.1	3.6
(6)生コン(m <sup>3</sup> )	15.6	8.3
(7)鋼材(金額)	18.5	9.5
(8)木材(金額)	14.5	6.5
<b>3.観光関連</b>		
(1)入域観光客数(人数)	2.1	3.3
うち外国客数(人数)	1.2	42.6
(2)県内主要ホテル稼働率	(前年同月差) 2.8 (実数) 78.5	(前年同期差) 3.1 (実数) 77.3
(3) " 売上高(金額)	5.9	2.7
(4)観光施設入場者数(人数)	7.3	0.2
(5)ゴルフ場入場者数(人数)	6.8	9.7
(6) " 売上高(金額)	9.3	8.7
<b>4.その他</b>		
(1)県内新規求人数(人数)	(8月) 19.6	(6-8月) 12.4
(2)有効求人倍率(季調値)	(実数、8月) 0.42	(実数、6-8月) 0.41
(3)消費者物価指数(総合)	0.6	0.7
(4)企業倒産件数(件数)	(前年同月差) 0	(前年同期差) 0.7
(5)広告収入(県内マスコミ)(金額)	(8月) 3.3	(6-8月) 2.8

(注1) 公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。県内新規求人数、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指数は沖縄県調べ。企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。

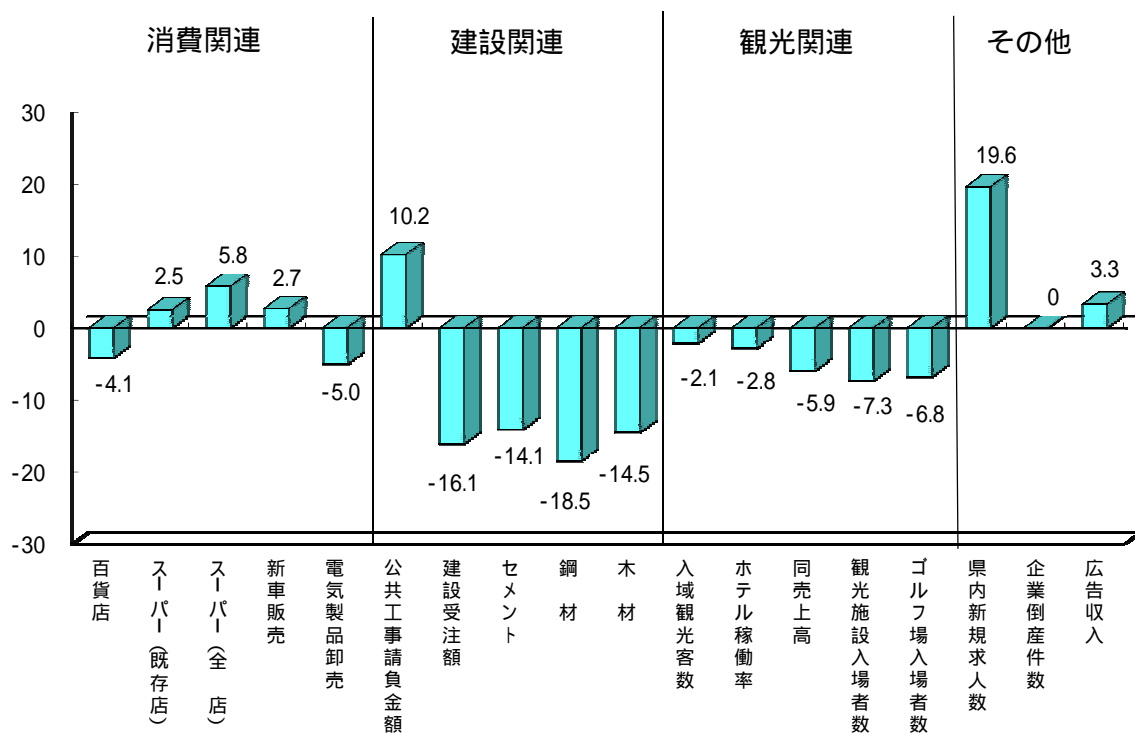
(注2) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

(注3) 主要ホテルは、2010年9月より調査先を18ホテルから19ホテルとした。

(注4) 観光施設入場者数は、2011年1月より調査先を6施設から5施設とした。

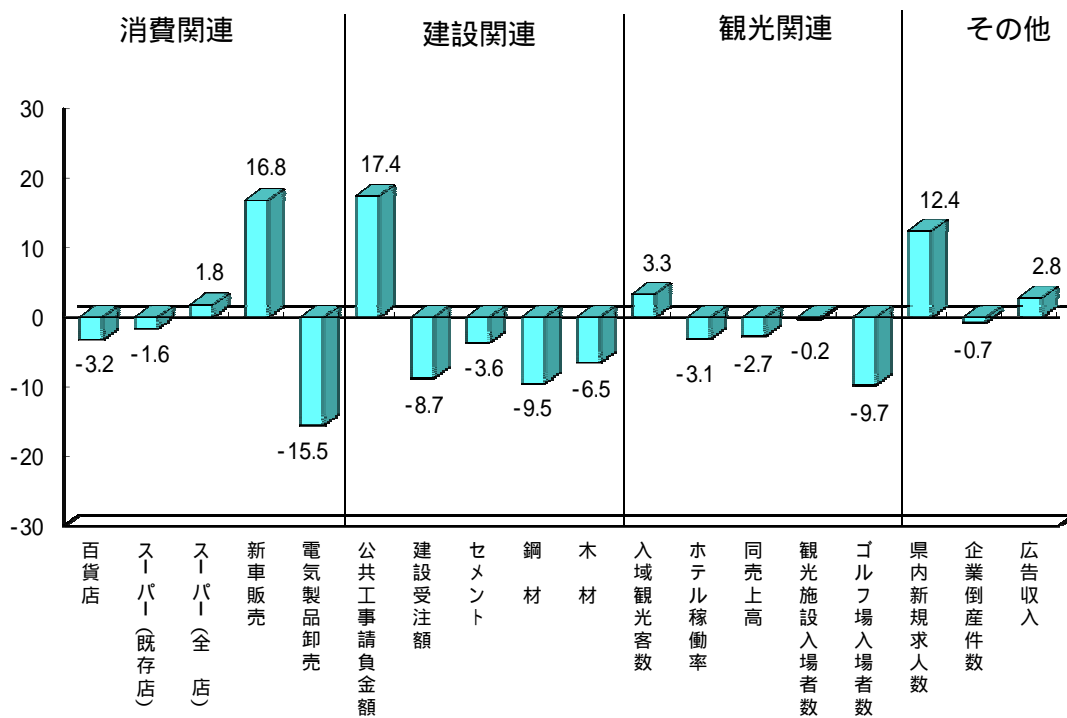
(注5) 企業倒産の前年同月差は、月平均の前年同月差。

項目別グラフ(単月、2012年9月)



(注) 県内新規求人数、広告収入は12年8月分。数値は前年比(%)。ホテル稼働率(%ポイント)、企業倒産件数(件)は前年差。

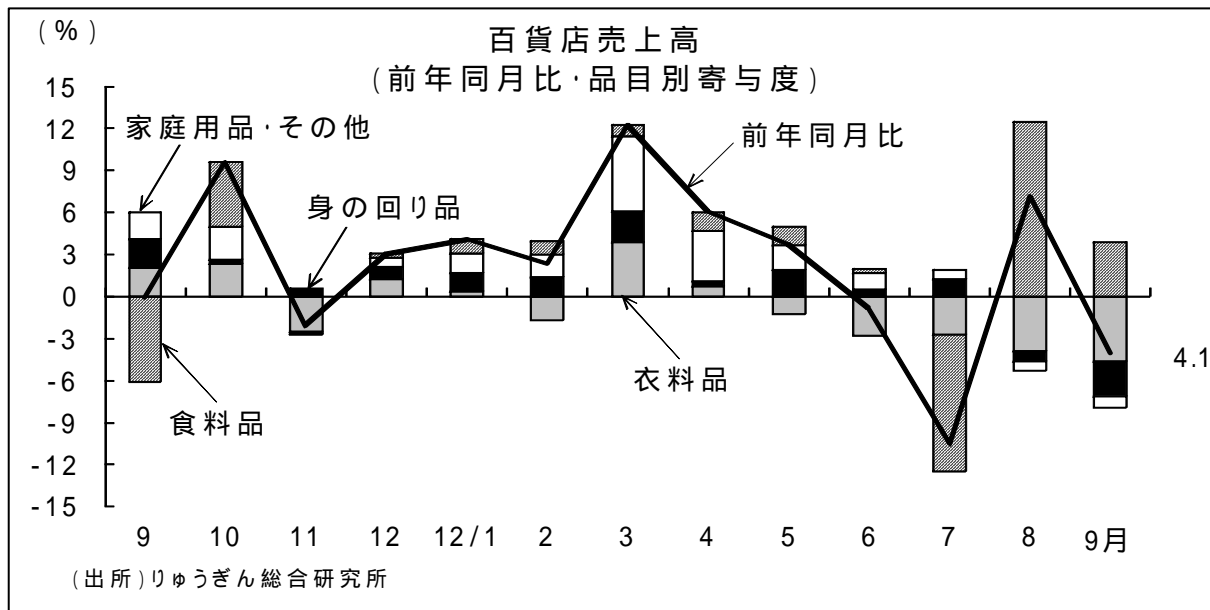
項目別グラフ(3カ月、2012年7~9月)



(注) 県内新規求人数、広告収入は12年6~8月分。数値は前年比(%)。ホテル稼働率(%ポイント)は前年差。企業倒産件数(件)は月平均の前年差。

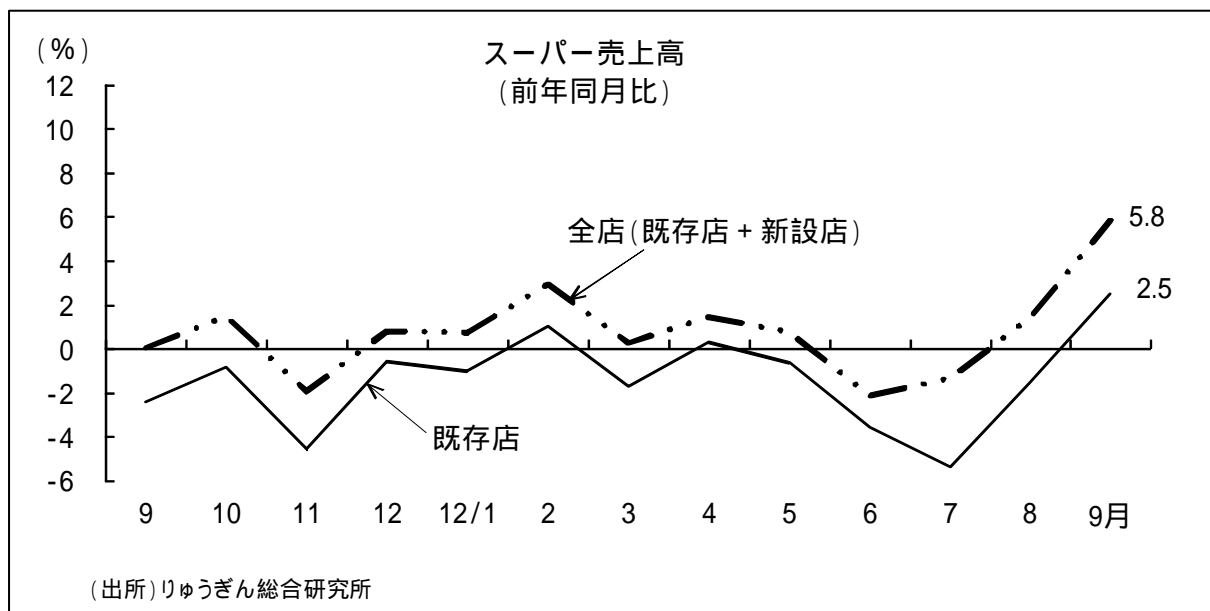
# 1. 消費関連

## (1) 百貨店売上高：2カ月ぶりに減少



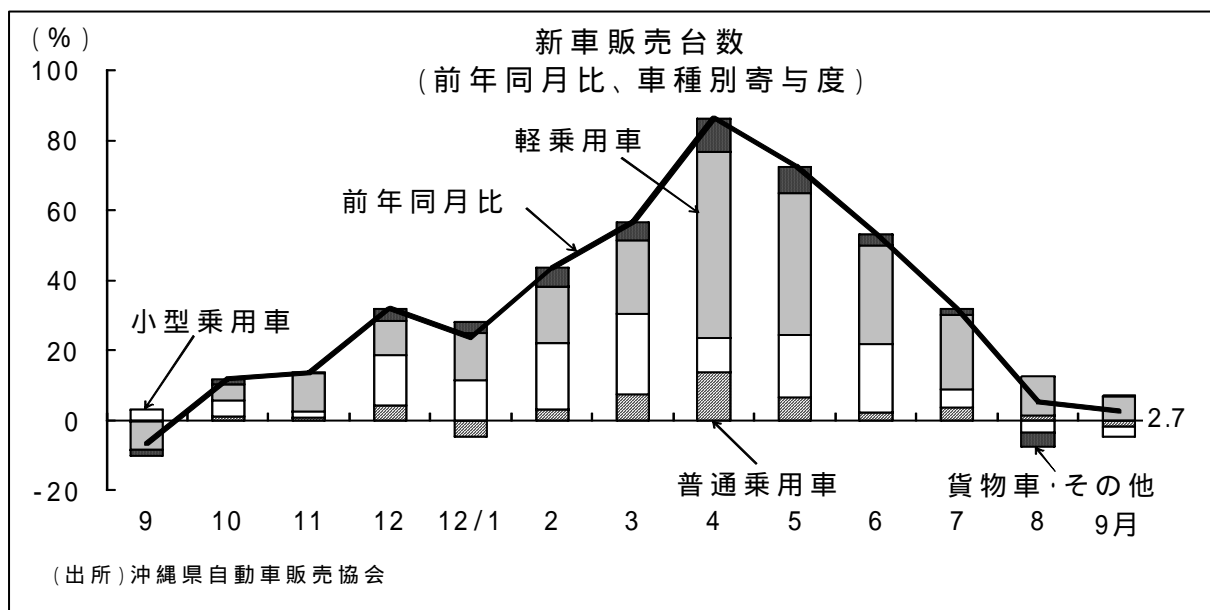
- 百貨店売上高は、前年同月比4.1%減と2カ月ぶりに前年を下回った。催事の時期がずれたこと（前年は10月、今年9月）などから食料品は増加したものの、台風16号と17号の影響などから客数が減少し、衣料品、家庭用品・その他や身の回り品が減少した。
- 品目別にみると、食料品（同13.6%増）は増加し、衣料品（同12.7%減）、身の回り品（同21.9%減）、家庭用品・その他（同3.5%減）が減少した。

## (2) スーパー売上高：全店ベースは2カ月連続で増加



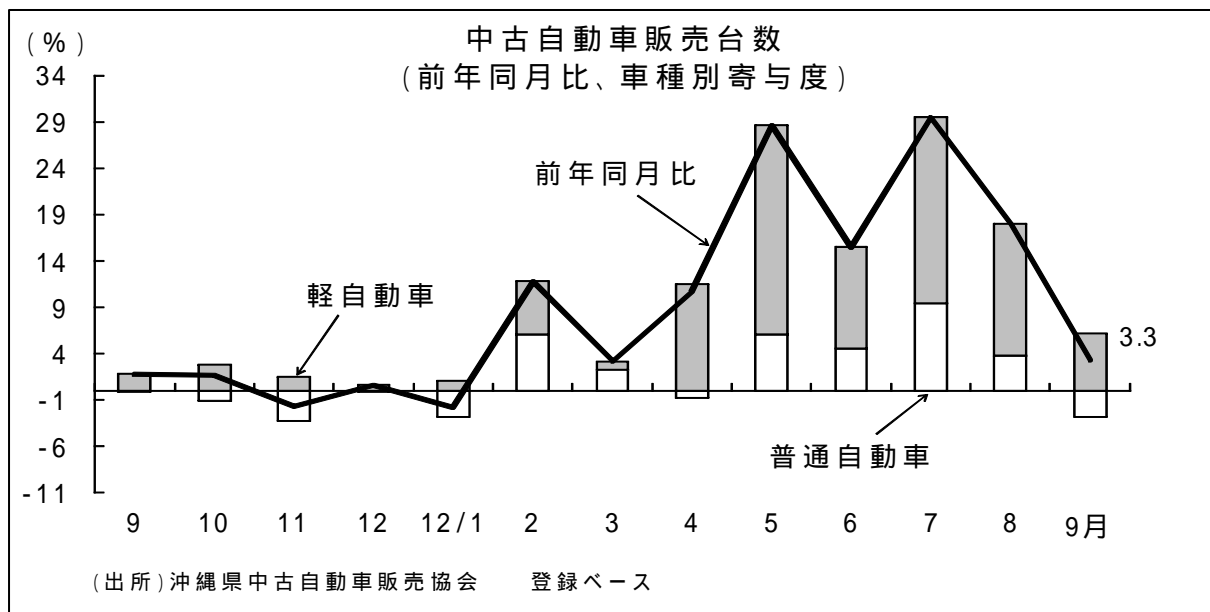
- スーパー売上高は、既存店ベースでは前年同月比2.5%増と5カ月ぶりに前年を上回った。
- 旧盆の時期が9月にまたがり分散（前年は8月のみ）したことから食料品は同4.9%増、台風の影響などから衣料品は同6.7%減となった。家電を含む住居関連は地上デジタル放送に完全移行後、テレビの減少が続いていることなどから同4.0%減となった。
- 全店ベースでは、大型店がオープンしたことなどから同5.8%増と2カ月連続で前年を上回った。

( 3 ) 新車販売台数：12 カ月連続で増加



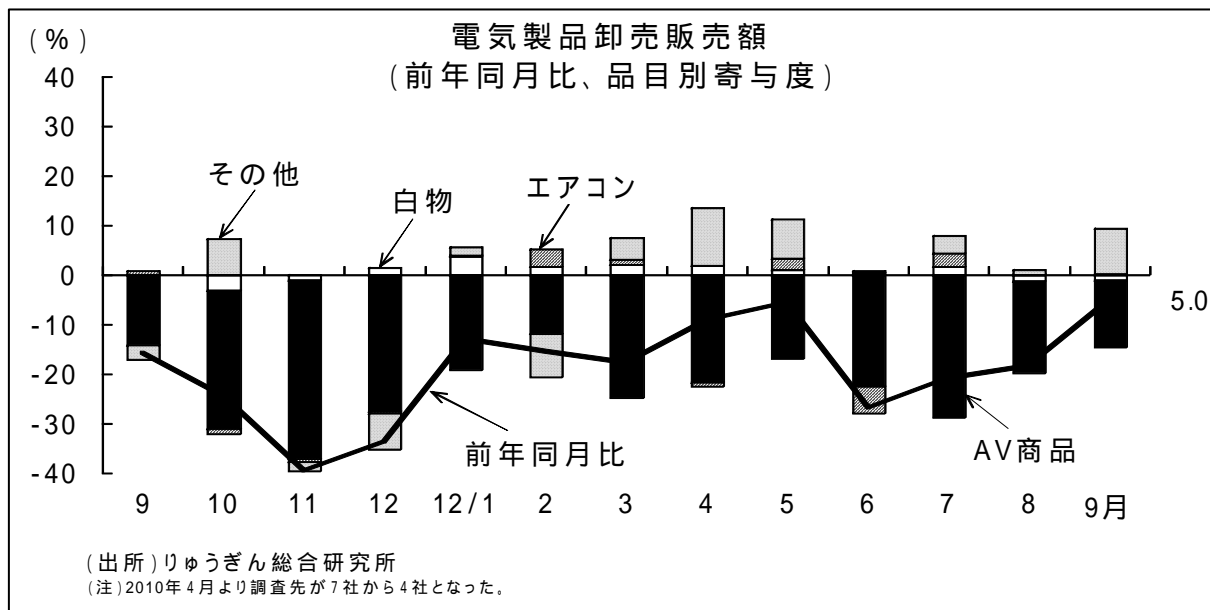
- ・ 新車販売台数は 3,248 台となり、前年 12 月 20 日から復活したエコカー補助金制度の効果が徐々に剥落しており、前年同月比 2.7% 増と 12 カ月連続で前年を上回ったものの増加幅は縮まった。
- ・ 普通自動車（登録車）は 1,200 台（同 6.7% 減）で、うち普通乗用車は 353 台（同 12.2% 減）、小型乗用車は 640 台（同 12.8% 減）であった。軽自動車（届出車）は 2,048 台（同 9.1% 増）で、うち軽乗用車は 1,791 台（同 13.9% 増）であった。

( 4 ) 中古自動車販売台数（登録ベース）：8 カ月連続で増加



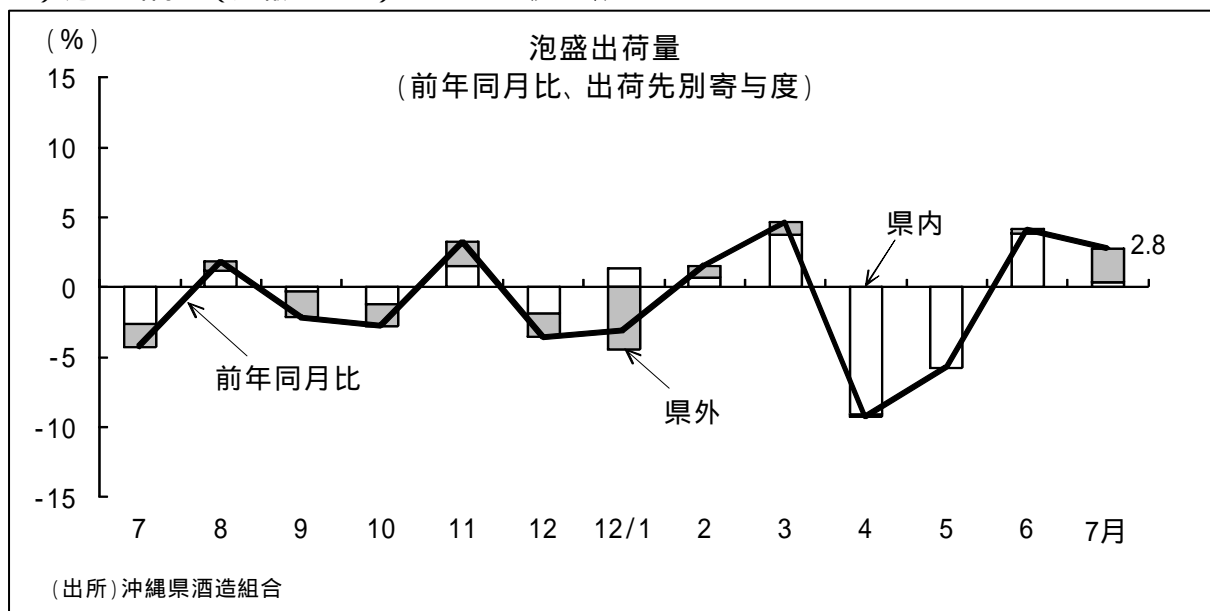
- ・ 中古自動車販売台数（普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース）は、前年同月比 3.3% 増となり 8 カ月連続で前年を上回った。
- ・ 内訳では、普通自動車は同 6.5% 減、軽自動車は同 11.1% 増となった。

(5) 電気製品卸売販売額：14カ月連続で減少



- 電気製品卸売販売額は、地上デジタル放送に完全移行後、テレビの減少が続いていることなどから前年同月比5.0%減と14カ月連続で前年を下回った。
- 品目別にみると、AV商品ではテレビが同59.3%減、DVDレコーダーが同63.8%減、白物では洗濯機が同6.1%減、冷蔵庫が同7.3%減、エアコンが同3.9%増、その他は同16.8%増となった。

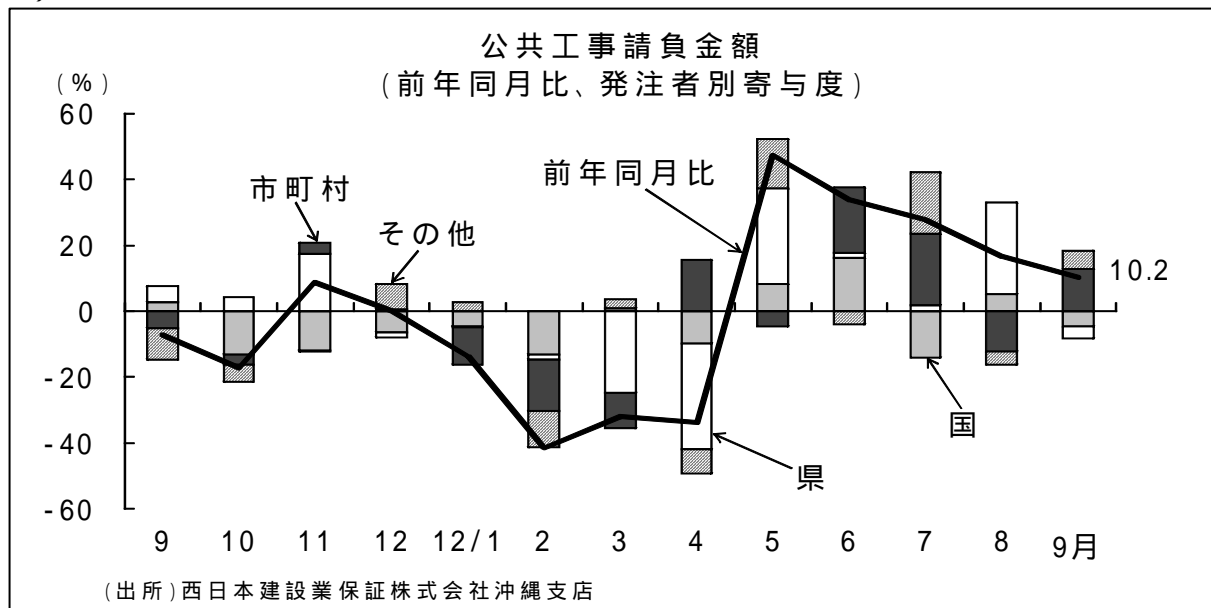
(6) 泡盛出荷量(速報ベース)：2カ月連続で増加



- 泡盛出荷量(7月)は、前年同月比2.8%増と2カ月連続で前年を上回った。
- 県内出荷量は同0.5%増となり、県外出荷量は同14.2%増となった。

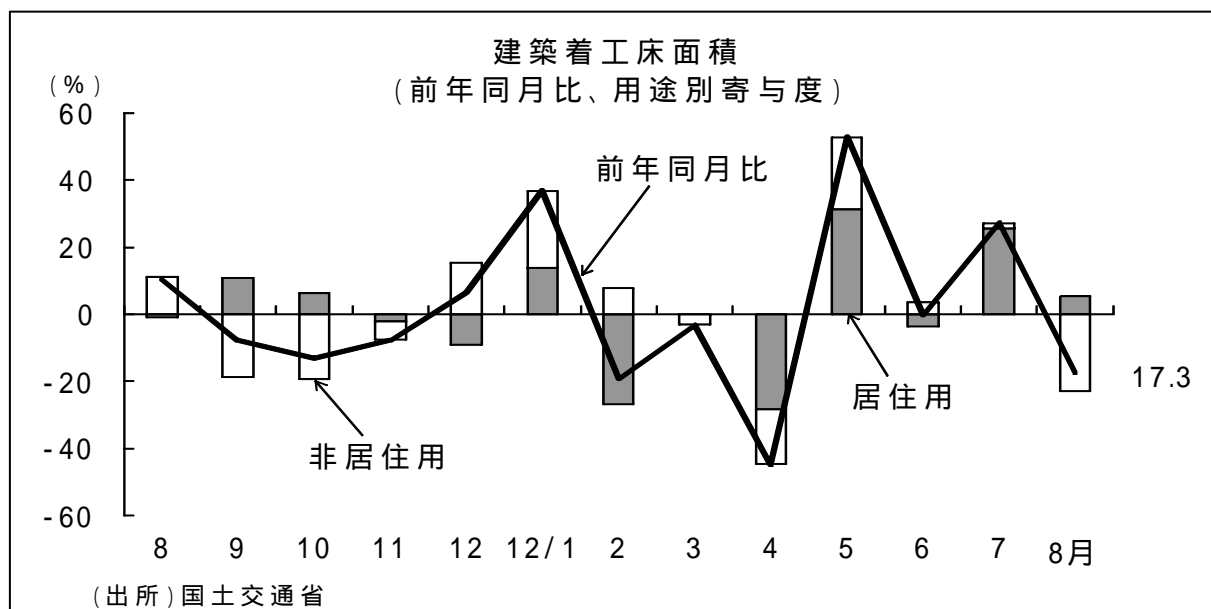
## 2. 建設関連

### (1) 公共工事請負金額：5カ月連続で増加



- 公共工事請負金額は、319億7,400万円の前年同月比10.2%増となり、市町村が大幅に増加したことなどから、5カ月連続で前年を上回った。
- 発注者別では、市町村(同44.6%増)、独立行政法人等・その他(同231.9%増)が増加し、国(同28.7%減)、県(同6.9%減)が減少した。
- 大型工事としては、平成23年度豊見城トンネル(下り線)工事、ふるさとづくり整備事業地域医療施設建築工事、那覇空港国内線旅客ターミナルビル第3次増築工事などがあつた。

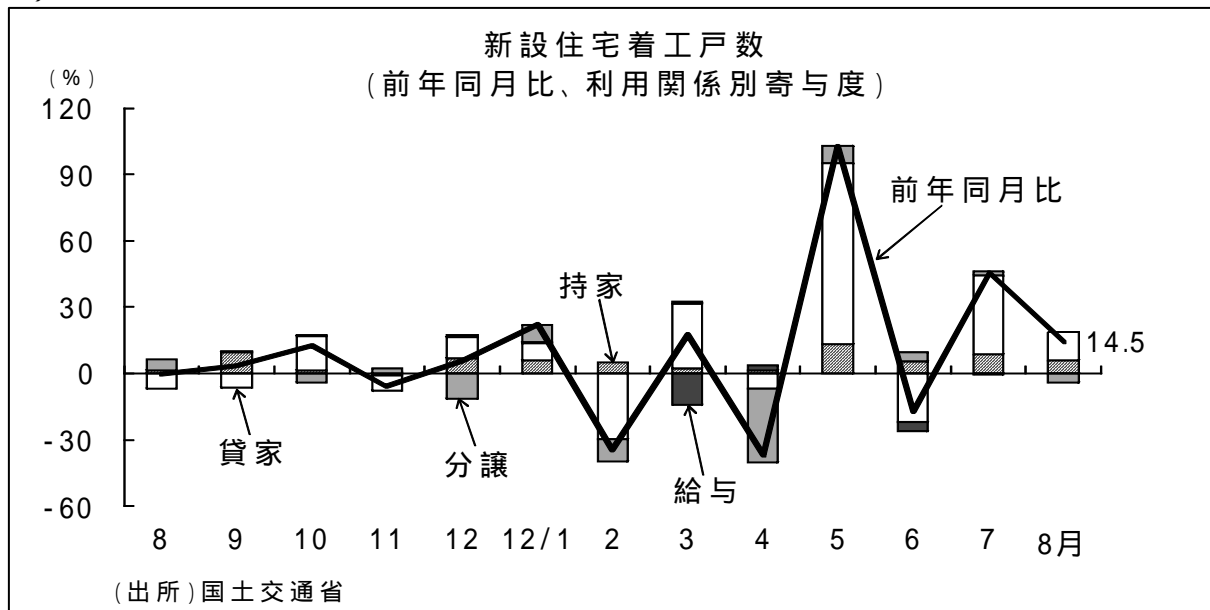
### (2) 建築着工床面積：2カ月ぶりに減少



- 建築着工床面積(8月)は、16万5,026㎡となり、前年同月比17.3%減と、非居住用が前年の反動により減少したことなどから、2カ月ぶりに前年を下回った。用途別では、居住用は同12.8%増となり、非居住用は同40.1%減となった。
- 建築着工床面積を用途別(大分類)にみると、居住用では、居住専用、居住産業併用ともに増加した。非居住用では、教育・学習支援業用などが増加し、卸売・小売業用などが減少した。

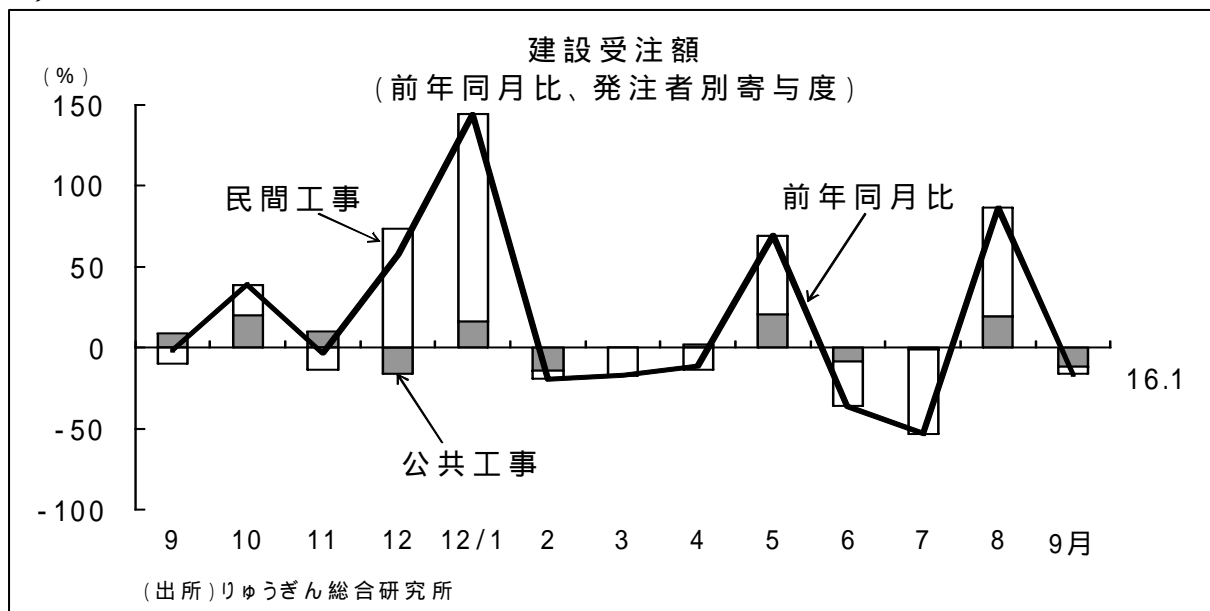


(3) 新設住宅着工戸数：2カ月連続で増加



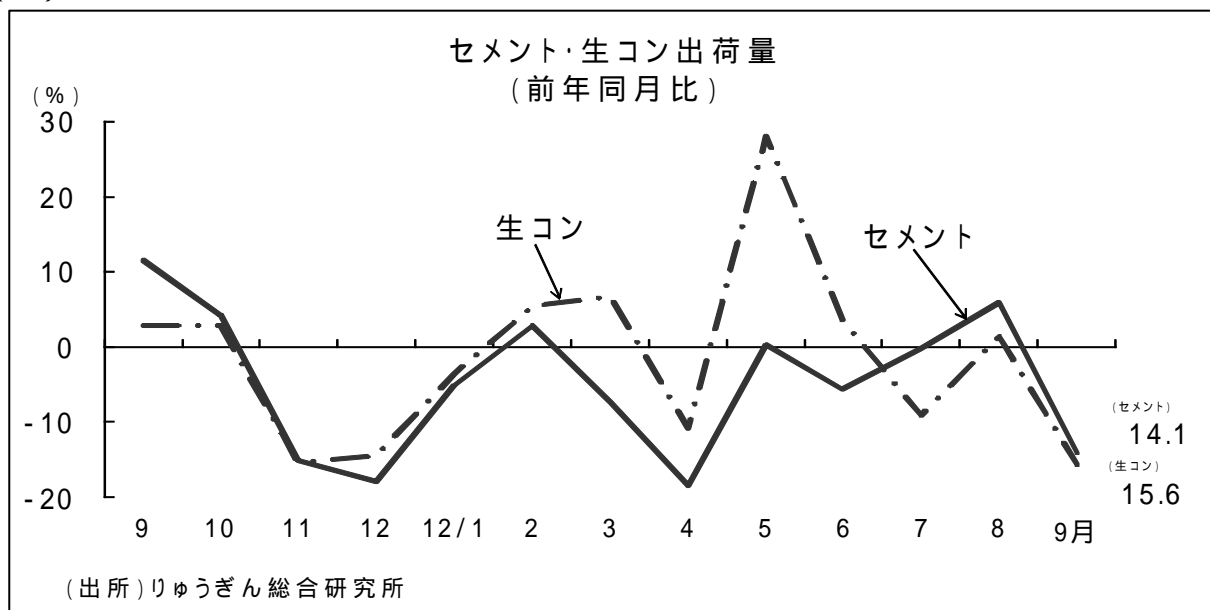
- ・ 新設住宅着工戸数（8月）は1,215戸となり、持家や貸家が増加したことから、前年同月比14.5%増と2カ月連続で前年を上回った。
- ・ 利用関係別では、持家（同24.8%増）、貸家（同19.5%増）が増加し、分譲（同42.9%減）が減少した。給与は同数であった。

(4) 建設受注額：2カ月ぶりに減少



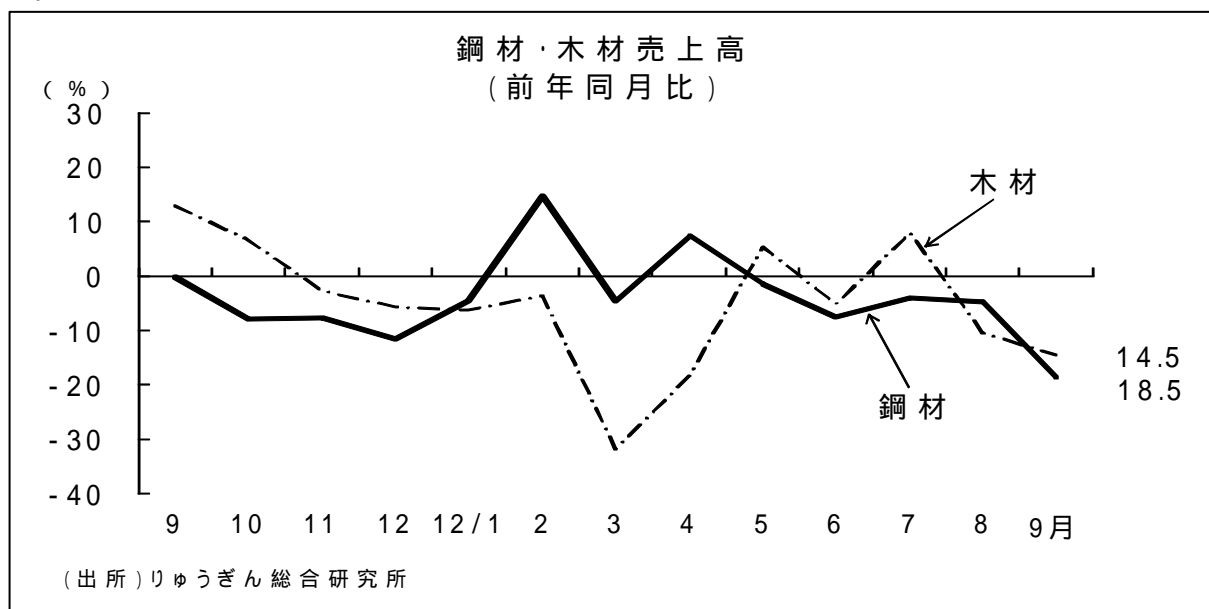
- ・ 建設受注額（調査先建設会社：20社）は、公共工事、民間工事ともに減少したことから、前年同月比16.1%減と2カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 発注者別では、公共工事（同16.1%減）は2カ月ぶりに減少し、民間工事（同4.7%減）も2カ月ぶりに減少した。

(5) セメント・生コン：セメント、生コンともに2カ月ぶりに減少



- ・ セメント出荷量は、5万7,908トンとなり前年同月比14.1%減と2カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 生コン出荷量は、11万8,779m<sup>3</sup>で同15.6%減となり、台風の影響があったことなどから2カ月ぶりに前年を下回った。公共工事向け出荷は減少し、民間工事向け出荷は同水準となった。
- ・ 生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、一般土木工事向けなどが増加し、学校関連や県企業局関連工事向けなどが減少した。民間工事では、貸家やホテル関連工事向けなどが増加し、戸建て住宅や医療施設関連工事向けなどが減少した。

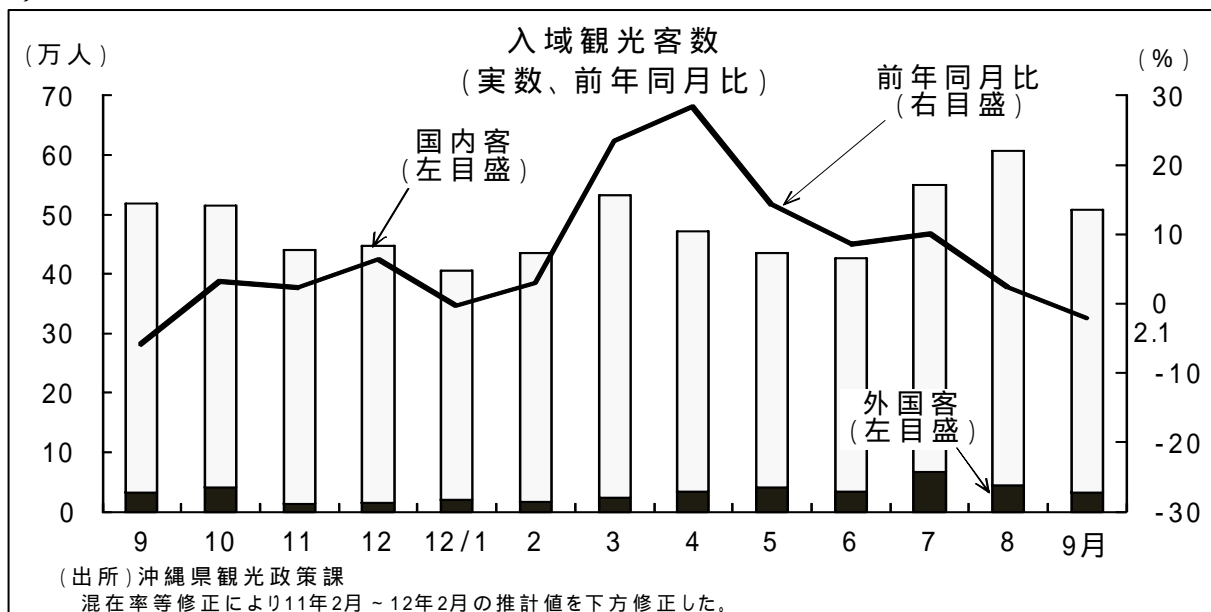
(6) 鋼材・木材：鋼材は5カ月連続で減少、木材は2カ月連続で減少



- ・ 鋼材売上高は、単価が下落したことなどから、前年同月比18.5%減と5カ月連続で前年を下回った。
- ・ 木材売上高は、前年の公共工事向け出荷の反動や台風による出荷の遅れが影響したことなどから同14.5%減と2カ月連続で前年を下回った。

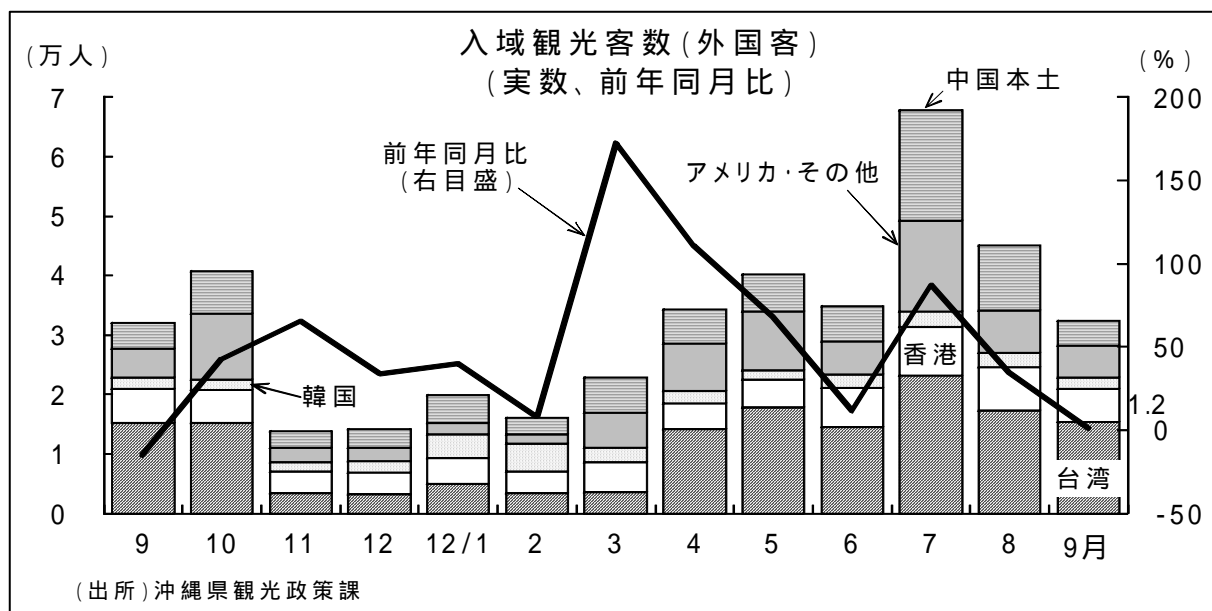
### 3. 観光関連

#### (1) 入域観光客数：8カ月ぶりに減少



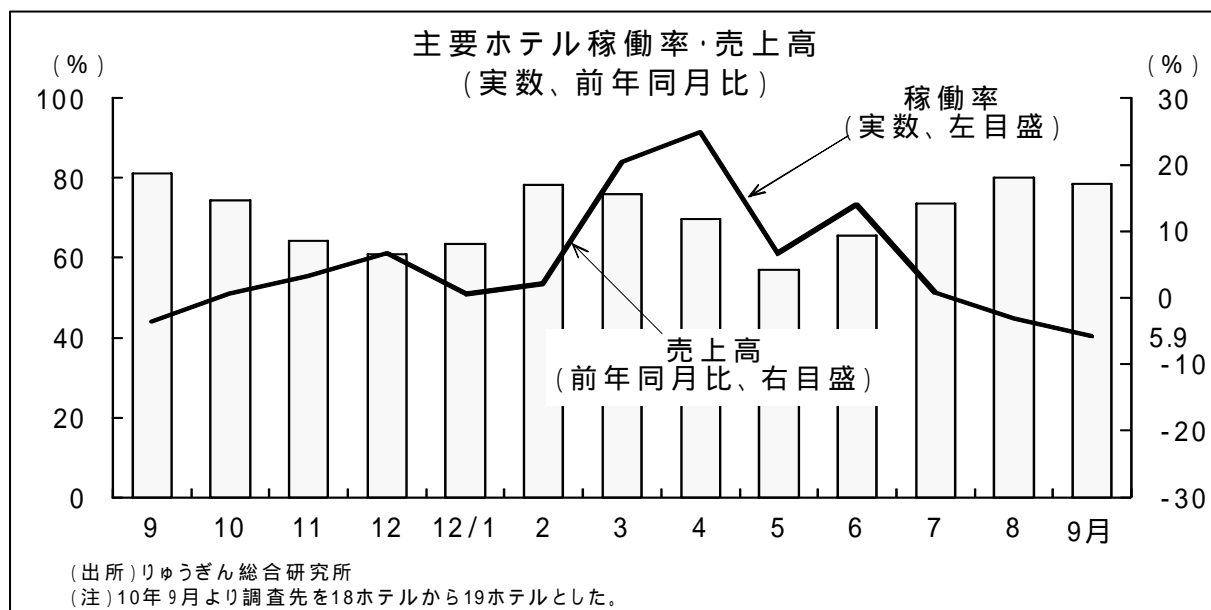
- 入域観光客数は50万7,300人となり、台風の影響などから前年同月比2.1%減と、8カ月ぶりに前年を下回った(対10年同月比7.9%減)。外国客は増加したが、国内客が減少した。うち国内客は47万4,800人で、同2.4%減と、8カ月ぶりに前年を下回った(対10年同月比7.4%減)。
- 空路入域客数は、外国客は増加したものの、国内客が減少し、49万2,400人(同2.2%減)と、12カ月ぶりに前年を下回った。海路入域客数は、国内客は前年と同水準だったが、外国客が減少し、1万8,700人(同0.7%減)と、3カ月ぶりに前年を下回った。

#### (2) 入域観光客数(外国客)：12カ月連続で増加



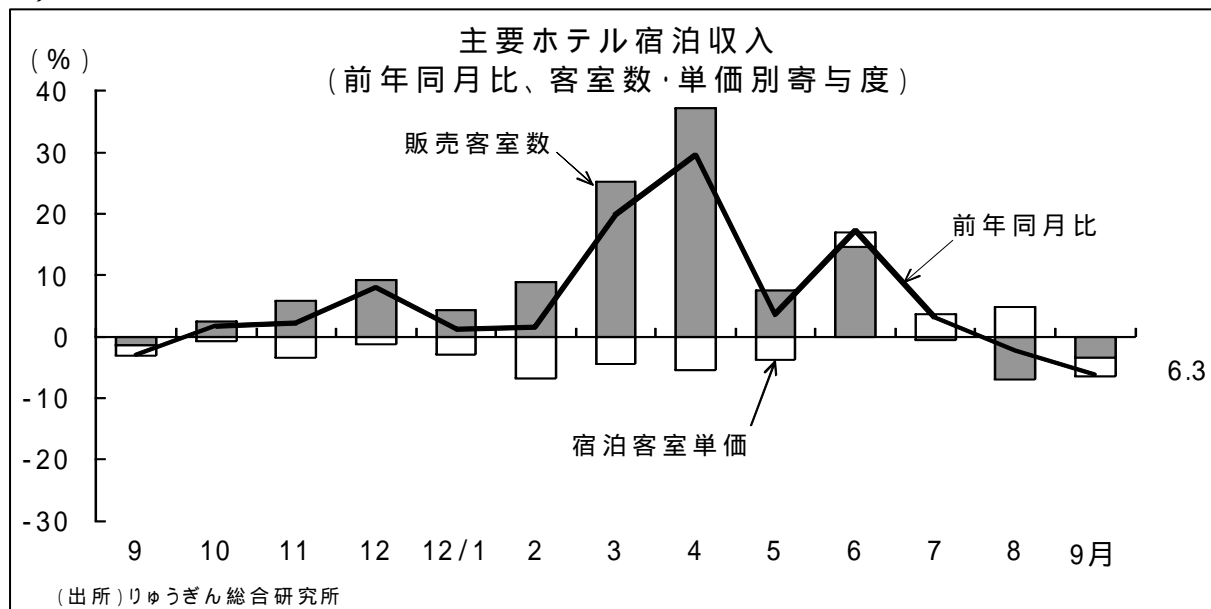
- 入域観光客数(外国客)は、台風の影響によるキャンセルなどがあったものの、前年同月比1.2%増の3万2,500人となり、12カ月連続で前年を上回った(対10年同月比14.0%減)。
- 国籍別では、台湾15,500人、香港5,400人、中国本土4,200人、韓国1,900人、アメリカ・その他5,500人となり、中国本土と香港が前年を下回った。

(3) 主要ホテル稼働率・売上高：稼働率は3カ月連続低下、売上高は2カ月連続で減少



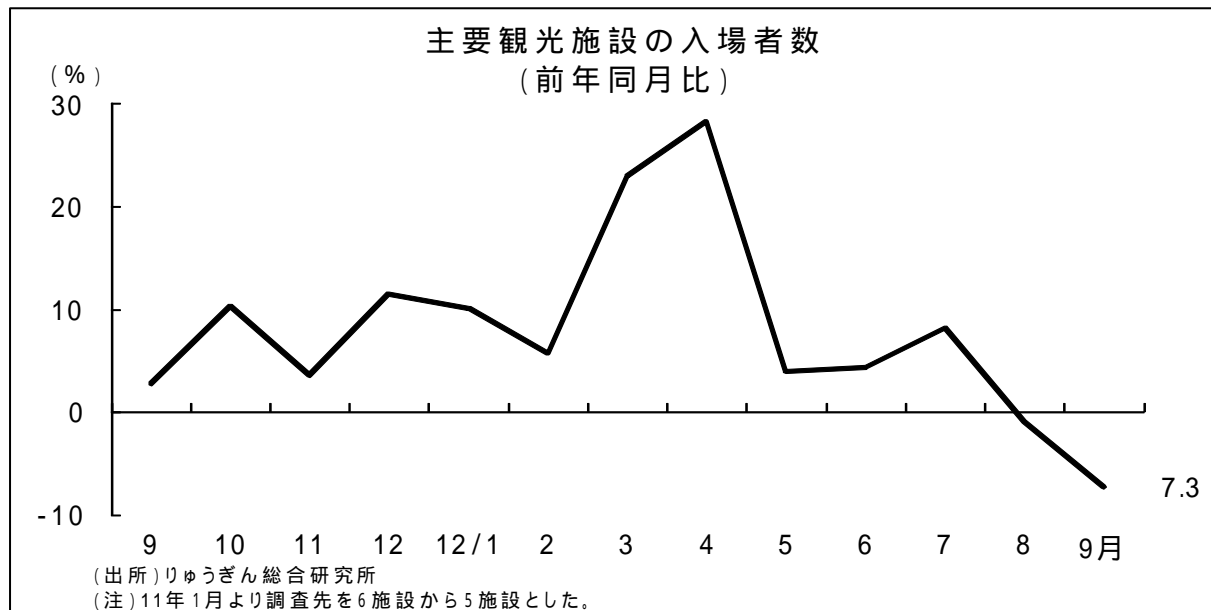
- ・ 主要ホテルは、台風による影響から、客室稼働率は78.5%と前年同月比2.8%ポイント低下し、3カ月連続で前年を下回った。売上高は同5.9%減となり、2カ月連続で前年を下回った。
- ・ 那覇市内ホテルは、客室稼働率は71.5%と同2.0%ポイント低下し、2カ月連続で前年を下回った。売上高は同6.7%減と、3カ月連続で前年を下回った。リゾート型ホテルは、客室稼働率は83.0%と同3.2%ポイント低下し、3カ月連続で前年を下回った。売上高は同5.6%減と2カ月連続で前年を下回った。

(4) 主要ホテル宿泊収入：2カ月連続で減少



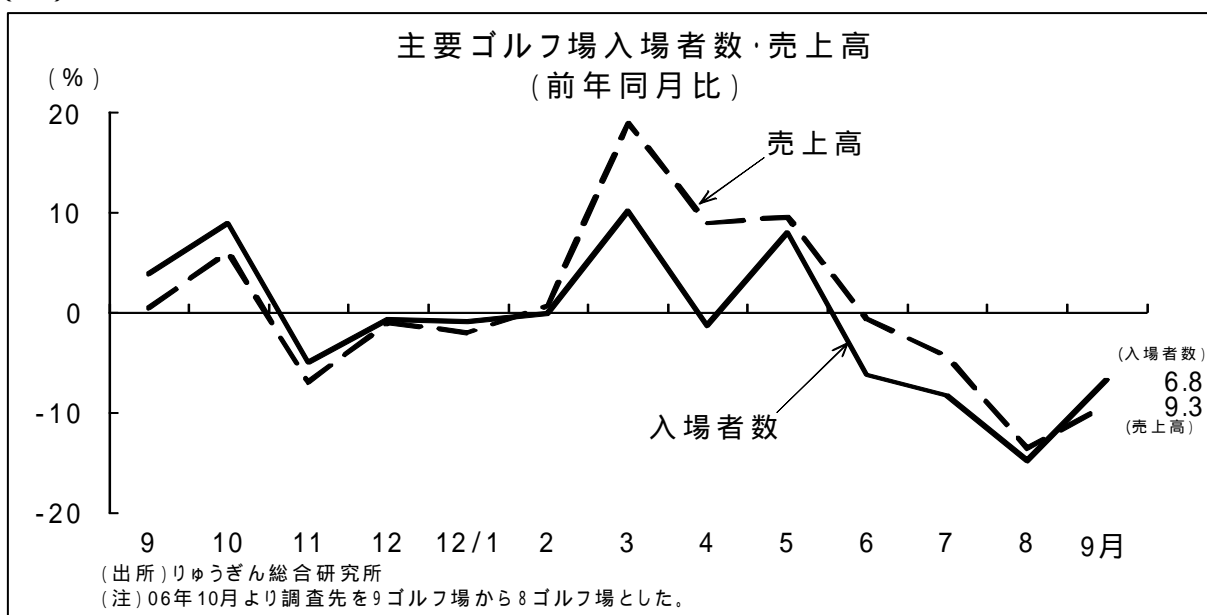
- ・ 主要ホテル売上高のうち宿泊収入についてみると、台風によるキャンセルが発生したことなどから、販売客室数（数量要因）が3カ月連続で減少し、宿泊客室単価（価格要因）も4カ月ぶりに減少したことから、前年同月比6.3%減と、2カ月連続で前年を下回った。
- ・ 那覇市内ホテルは、販売客室数が2カ月連続で減少し、宿泊客室単価も5カ月ぶりに下落したことから、同4.1%減と2カ月連続で前年を下回った。
- ・ リゾートホテルは、販売客室数が3カ月連続で減少し、宿泊客室単価も4カ月ぶりに下落したことから、同6.8%減と2カ月連続で前年を下回った。

(5) 主要観光施設の入場者数：2カ月連続で減少



- ・ 主要観光施設の入場者数は、台風の影響により、前年同月比 7.3%減と2カ月連続で前年を下回った。

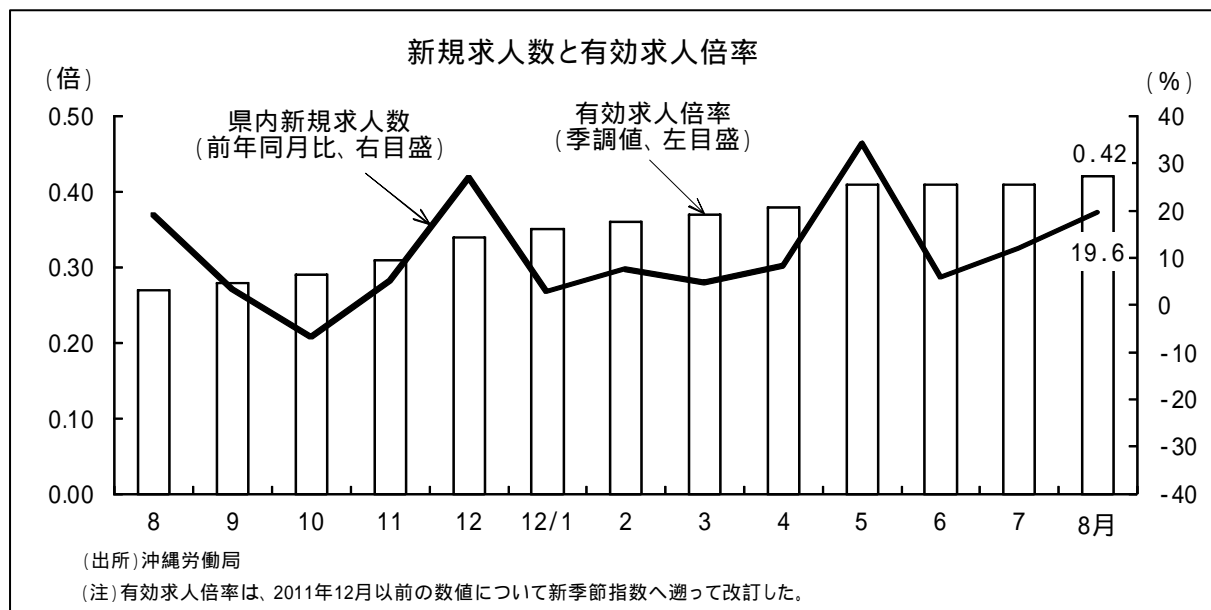
(6) 主要ゴルフ場入場者数・売上高：入場者数、売上高ともに4カ月連続で減少



- ・ 主要ゴルフ場の入場者数は、台風の影響で観光客、県内客がともに減少し、前年同月比 6.8%減と、4カ月連続で前年を下回った。売上高も同 9.3%減と、4カ月連続で前年を下回った。

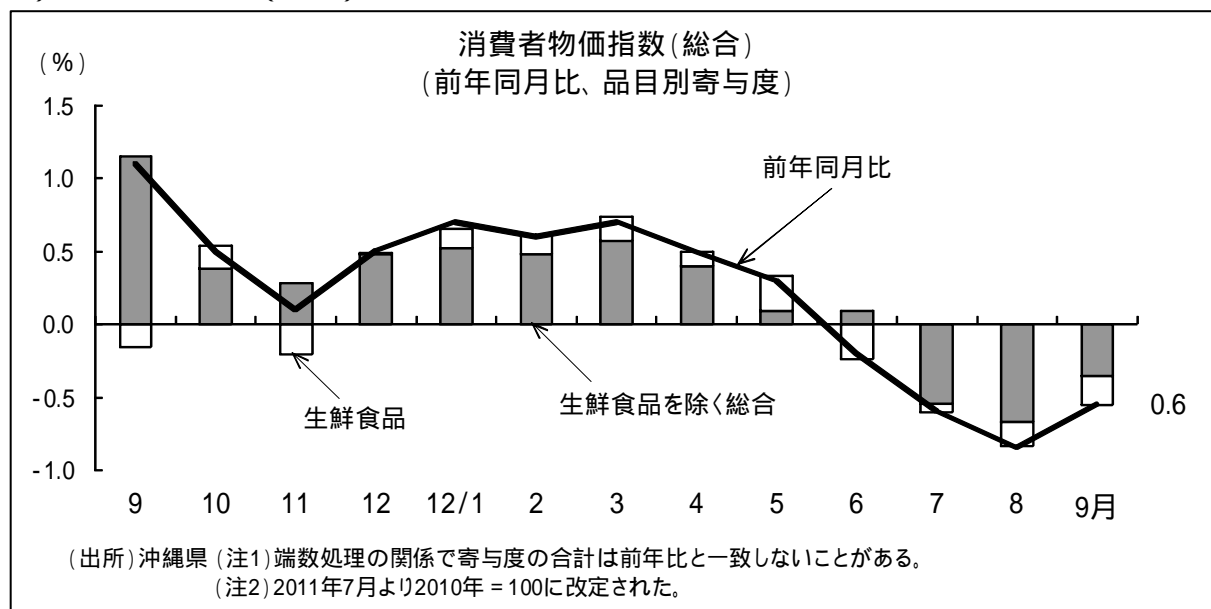
## 4. その他

(1) 雇用関連：新規求人数は増加、有効求人倍率（季調値）は上昇



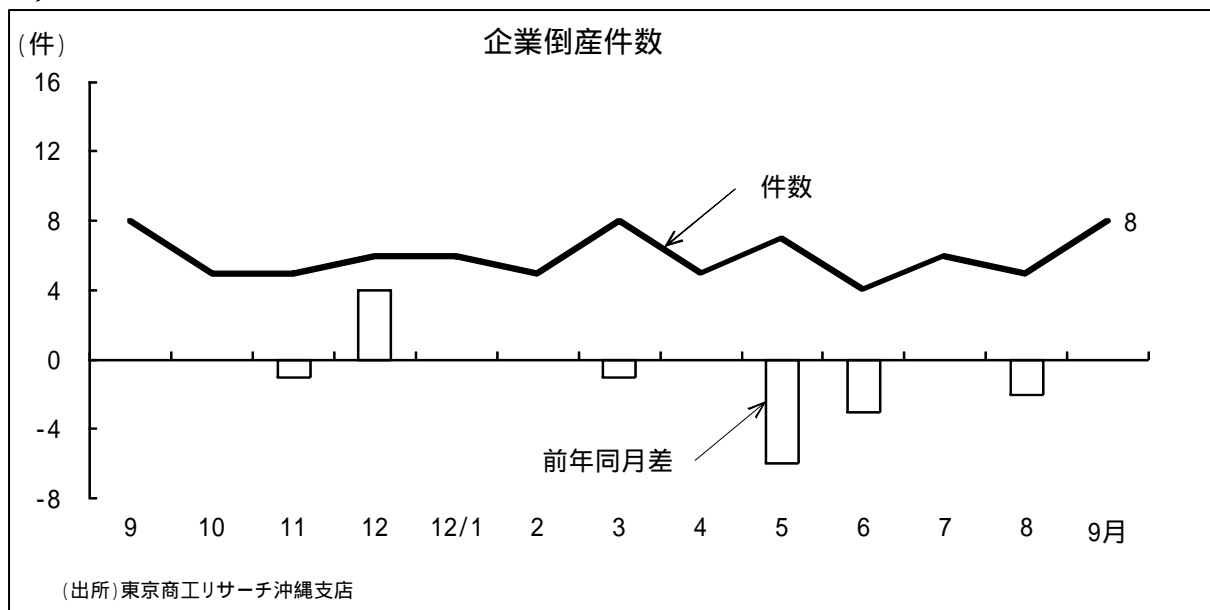
- ・ 新規求人数（8月）は、前年同月比 19.6%増となり 10 カ月連続で増加した。産業別にみると、情報通信業、医療・福祉、建設業などで増加し、金融業、保険業、公務・その他などで減少した。有効求人倍率（季調値）は 0.42 倍となり、前月より上昇した。
- ・ 労働力人口（8月）は、68 万 2,000 人で同 3.0%増となり、就業者数は、63 万 9,000 人で同 4.2%増となった。完全失業者数は 4 万 3,000 人で同 12.2%減となり、完全失業率（季調値）は 6.1%と前月より 0.2 ポイント悪化した。

(2) 消費者物価指数（総合）：4 カ月連続で下落



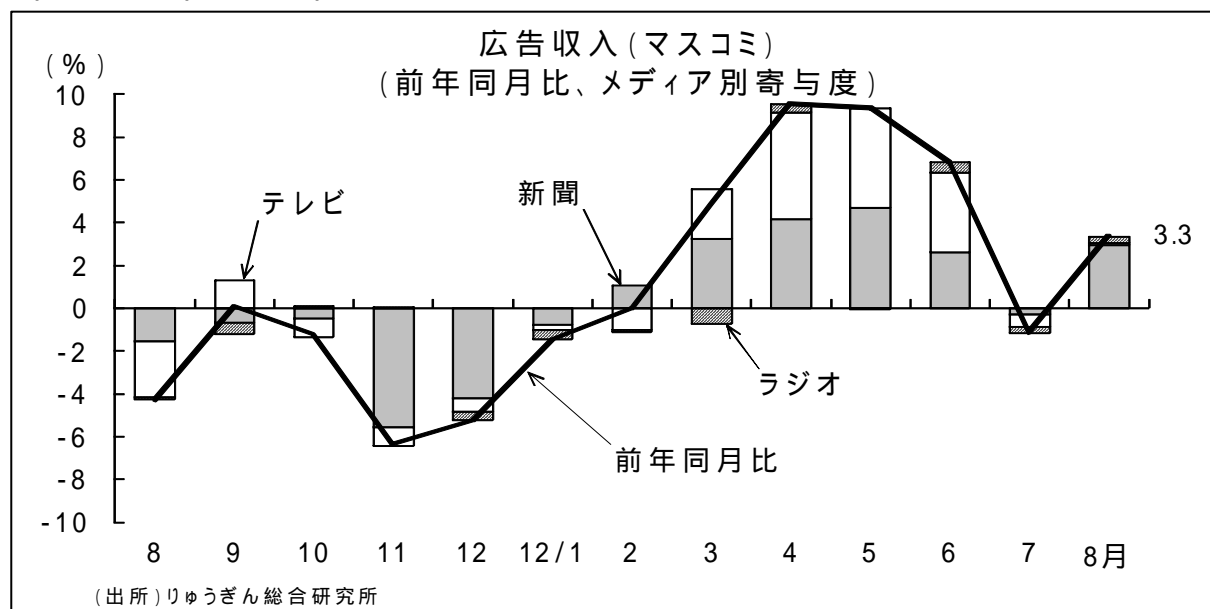
- ・ 消費者物価指数は、前年同月比 0.6%減と 4 カ月連続で前年を下回った。生鮮食品を除く総合も同 0.4%減と下落した。
- ・ 品目別の動きをみると、光熱・水道、被服履物などが上昇し、食料、交通・通信、教養娯楽などが下落した。

(3) 企業倒産：件数は同数、負債総額は減少



- 倒産件数は8件となり前年同月と同数となった。業種別では、建設業4件（前年同月比3件増）、小売業2件（同1件増）、製造業1件（同数）、卸売業1件（同1件減）であった。
- 負債総額は5億7,800万円となり、前年同月84.2%の減少となった。

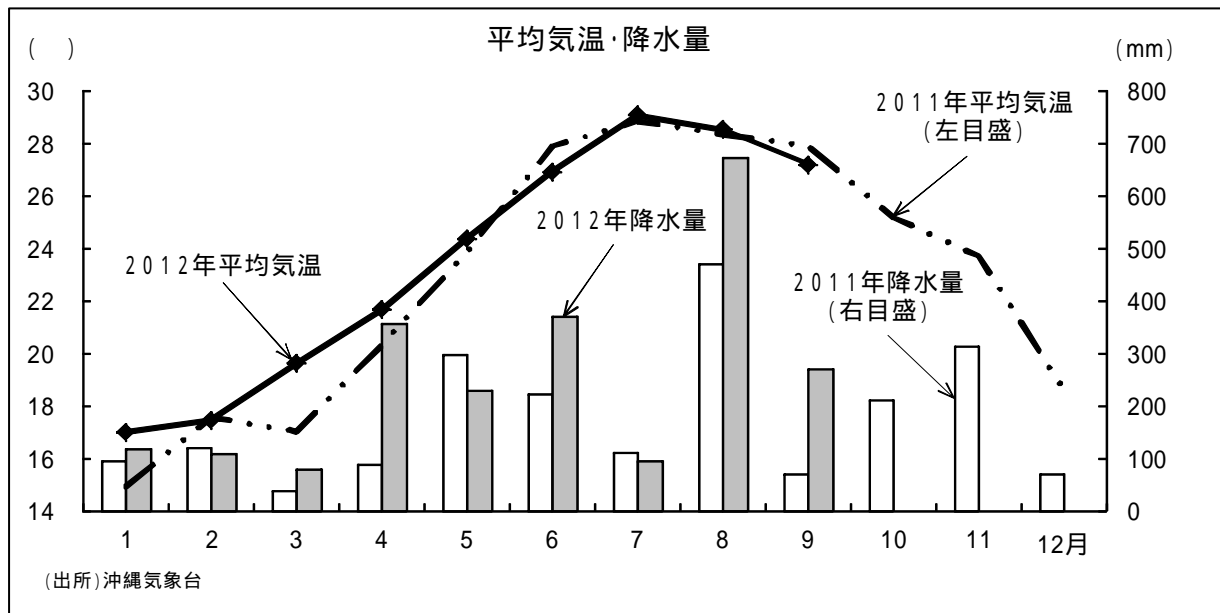
(4) 広告収入（マスコミ）：2カ月ぶりに増加



- 広告収入（マスコミ：8月）は、前年同月比3.3%増となり、2カ月ぶりに前年を上回った。ラジオ、新聞、テレビともに前年を上回った。

(参考)

気象:平均気温・降水量(那覇)



- 平均気温は 27.2°C と前年同月 (27.9°C)、平年 (27.6°C) より低かった。降水量は 271.5mm と前年同月 (71.5mm) より多かった。



沖縄県内の主要経済指標.....	17
〃        金融統計.....	19

## 沖縄県内の主要経済指標(その1)

暦年	百貨店 売上高	スーパー 売上高 (既存店)	スーパー 売上高 (全店)	電気製品 卸売額	新車販売 台数	泡盛 出荷量	公共工事請負額		建築着工床面積	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	百万円	前年比	千平米	前年比
2009	9.4	2.0	0.9	6.7	10.9	3.7	285,283	12.1	1,888.1	3.2
2010	5.2	0.5	0.9	24.9	13.9	5.2	224,019	21.5	1,630.5	13.6
2011	1.5	0.5	2.4	12.3	17.5	3.9	233,769	4.4	1,702.6	4.4
2011 8	5.8	1.6	0.6	16.8	25.8	1.8	22,413	8.0	199.6	10.3
9	0.1	2.4	0.1	15.8	6.6	2.2	29,021	7.2	129.6	7.7
10	9.6	0.8	1.4	24.6	11.9	2.7	20,836	17.4	119.4	13.0
11	2.1	4.6	1.9	39.5	13.7	3.3	19,077	8.6	138.8	7.6
12	3.1	0.6	0.8	33.8	32.0	3.5	12,474	0.1	105.9	6.3
2012 1	4.1	1.0	0.7	12.8	23.7	3.1	13,482	13.7	143.4	36.8
2	2.3	1.0	2.9	15.4	43.7	1.6	10,960	41.3	86.0	19.0
3	12.2	1.7	0.3	17.6	56.7	4.6	27,923	31.9	106.5	3.2
4	6.0	0.3	1.4	9.1	86.3	9.3	9,119	33.7	145.1	44.7
5	3.7	0.6	0.7	5.6	72.6	5.7	10,208	47.4	193.5	52.8
6	0.8	3.5	2.2	26.8	53.2	4.2	15,723	33.7	170.4	0.0
7	10.5	5.4	1.3	20.7	32.1	2.8	28,340	27.8	163.7	27.2
8	7.2	1.5	1.4	18.3	5.3	-	26,136	16.6	165.0	17.3
9	4.1	2.5	5.8	5.0	2.7	-	31,974	10.2	-	-
出所	りゅうぎん総合研究所調べ				自販協	酒造組	西日本建設業保証 沖縄支店		国土交通省	

注) 電気製品卸売売額は、2010年4月より調査先が7社から4社となった。

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、泡盛出荷量は沖縄県酒造組合。

暦年	新設住宅着工戸数		建設 受注額	セメント 出荷数量	生コン 出荷数量	鋼材 売上高	木材 売上高	入域観光客数		観光施設 入場者数
	戸	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	千人	前年比	前年比
2009	11,747	4.5	22.1	3.1	0.9	23.1	9.4	5,650.8	6.5	10.9
2010	10,709	8.8	5.8	2.3	7.3	12.6	2.1	5,855.1	3.6	2.7
2011	11,828	10.4	13.5	2.5	4.6	3.9	8.6	5,415.5	7.5	5.4
2011 8	1,061	0.3	37.2	1.5	2.6	0.6	22.3	593.2	6.7	2.4
9	903	3.4	1.3	11.5	2.9	0.1	13.0	518.4	5.9	2.8
10	1,020	12.7	38.8	4.3	2.9	7.8	6.8	515.6	3.2	10.3
11	1,060	5.5	3.3	15.1	15.3	7.6	2.8	440.7	2.3	3.6
12	920	5.6	57.6	17.9	14.4	11.5	5.7	446.8	6.3	11.5
2012 1	993	22.0	140.5	5.1	3.5	4.6	6.3	405.0	0.3	10.1
2	715	34.7	19.4	2.8	5.4	14.8	3.6	434.8	2.9	5.7
3	730	17.7	17.1	7.3	6.7	4.6	31.8	533.1	23.5	23.0
4	1,062	37.0	11.6	13.6	10.8	7.5	18.1	471.1	28.3	28.3
5	1,164	102.8	69.2	0.3	28.0	1.4	5.5	434.3	14.2	4.0
6	954	17.1	36.1	5.5	3.5	7.5	5.0	426.4	8.6	4.4
7	1,344	45.6	53.0	0.2	9.1	4.0	7.9	550.4	10.0	8.1
8	1,215	14.5	86.4	5.9	1.3	4.8	10.4	607.2	2.4	0.9
9	-	-	16.1	14.1	15.6	18.5	14.5	507.3	2.1	7.3
出所	国土交通省		りゅうぎん総合研究所調べ				県文化観光スポーツ部 観光政策課		りゅうぎん 総合研究所	

注) 入域観光客数は、2011年以降の数値について混在率の変更により遡及修正した。

注) 観光施設入場者数は、2011年1月より調査先が6施設から5施設となった。

## 沖縄県内の主要経済指標(その2)

暦年	ホテル稼働率 (実数)		ホテル売上高 (前年比)		ゴルフ場 入場者数	広告収入	入域観光客数 のうち外国客		鉱工業生産指数 (季調値)	
	市内	リゾート	市内	リゾート	前年比	前年比	千人	前年比	2005年=100	前年比
2009	66.2	70.9	8.6	14.5	1.7	5.0	230.3	8.5	99.0	0.2
2010	68.7	71.2	3.3	3.2	1.8	2.8	284.7	23.6	96.9	2.1
2011	64.8	67.7	7.4	6.2	0.8	3.2	280.0	1.7	94.6	2.4
2011 8	82.4	88.5	16.2	6.3	0.7	4.0	33.6	3.7	88.9	7.1
9	73.5	86.3	5.7	2.8	3.8	0.1	32.1	15.1	95.2	2.0
10	70.8	76.8	1.0	0.4	8.9	1.3	40.8	42.7	99.6	6.0
11	66.4	63.0	1.2	4.5	5.0	6.4	13.9	65.5	98.8	4.2
12	66.8	56.9	4.8	7.8	0.6	5.2	14.2	34.0	100.5	2.4
2012 1	66.1	61.6	2.3	2.1	0.9	1.5	19.9	40.1	85.3	8.5
2	82.6	75.7	0.2	3.4	0.0	0.0	16.1	8.1	90.5	4.6
3	78.7	74.2	16.3	22.6	10.2	4.9	22.9	172.6	86.4	3.7
4	67.6	71.2	19.3	27.5	1.3	9.6	34.3	110.4	84.8	8.5
5	56.4	57.6	8.9	5.6	8.0	9.3	40.3	67.9	100.1	8.8
6	63.3	66.9	15.6	13.1	6.3	6.8	34.8	11.2	98.5	4.5
7	65.0	79.0	0.2	0.9	8.3	1.2	67.9	87.1	94.2	1.4
8	75.2	83.1	3.5	3.1	14.8	3.3	45.1	34.2	-	-
9	71.5	83.0	6.7	5.6	6.8	-	32.5	1.2	-	-
出所	りゅうぎん総合研究所調べ					県文化観光スポーツ部 観光政策課			県企画部統計課	

注) ホテルは、2010年9月より調査先が18ホテルから19ホテルとなった。

注) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

注) 鉱工業生産指数の暦年値、前年比は原指数の増減率。2009年2月より2005年 = 100に改定された。

暦年	企業倒 産件数	負債総額		消費者 物価指数	失業率 (季調値)	就業者数	有効求人 倍率 (季調値)	新 規 求人数 (県内)	通関 輸出	通関 輸入
	件	百万円	前年比	前年比	%	前年比	倍	前年比	百万円	百万円
2009	75	25,070	65.5	0.5	7.5	2.8	0.28	7.5	47,752	182,334
2010	49	11,048	55.9	0.5	7.6	0.8	0.31	13.1	82,119	207,981
2011	82	17,374	57.3	0.5	7.1	0.5	0.29	8.3	57,538	269,730
2011 8	7	670	963.5	1.3	7.2	1.6	0.27	19.1	5,491	22,587
9	8	3,647	27.7	1.1	6.5	1.3	0.28	3.3	11,111	17,894
10	5	285	56.9	0.5	6.3	1.1	0.29	6.8	3,392	25,060
11	5	423	50.8	0.1	6.7	0.8	0.31	5.1	4,522	15,668
12	6	1,145	154.4	0.5	7.3	0.2	0.34	26.8	3,515	23,415
2012 1	6	491	50.2	0.7	7.5	0.5	0.35	2.7	4,457	27,076
2	5	249	70.0	0.6	7.2	2.7	0.36	7.6	10,300	18,068
3	8	3,249	253.5	0.7	6.8	1.9	0.37	4.8	14,011	30,299
4	5	887	3.6	0.5	9.0	0.5	0.38	8.4	1,292	23,546
5	7	729	42.1	0.3	7.6	1.5	0.41	34.4	1,324	56,021
6	4	207	78.5	0.2	6.6	2.5	0.41	5.8	6,917	26,117
7	6	1,630	73.0	0.6	5.9	4.7	0.41	11.9	6,712	18,665
8	5	405	39.6	0.8	6.1	4.2	0.42	19.6	4,995	16,876
9	8	578	84.2	0.6	-	-	-	-	4,550	58,565
出所	東京商工リサーチ沖縄支店		県企画部統計課			沖縄労働局		沖縄地区税関		

注) 消費者物価指数は、2011年7月より2010年 = 100に改定された。

注) 失業率と有効求人倍率は、2011年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

## 沖縄県内の金融統計

年度	銀行券 発行額	銀行券 還収額	銀行券 増減 (還収超)	貸出金利 (地銀3行)	手形交換高(金額は億円)				不渡実数 (金額)	不渡 発生率
	億円	億円	億円	%	千枚	前年比	金額	前年比	百万円	%
2009FY	3,124	4,330	1,203	2.435	325	8.8	4,889	9.7	1,206	0.247
2010FY	3,401	4,479	1,052	2.403	305	6.1	4,627	5.4	530	0.115
2011FY	2,930	3,991	1,061	2.336	288	5.7	4,466	3.5	444	0.100
2011 8	248	407	159	2.358	28	4.8	440	6.2	52	0.118
9	207	342	134	2.344	24	4.3	428	7.4	36	0.084
10	216	328	112	2.347	24	5.9	349	2.6	31	0.089
11	205	317	111	2.347	24	11.0	320	14.6	47	0.147
12	519	168	350	2.336	24	4.9	310	3.3	32	0.104
2012 1	109	526	417	2.326	23	5.4	362	2.0	17	0.046
2	212	272	60	2.307	23	0.2	342	2.1	6	0.017
3	244	307	63	2.270	22	18.0	385	18.1	88	0.017
4	260	258	1	2.277	22	1.4	390	5.0	39	0.099
5	206	464	258	2.277	27	1.7	447	1.5	67	0.149
6	263	275	12	2.266	22	11.4	323	17.6	23	0.072
7	236	333	97	2.260	27	18.2	433	38.5	44	0.102
8	262	311	48	2.247	24	13.7	363	17.4	27	0.074
9	-	-	-	-	20	19.1	326	23.8	42	0.129
出所	日本銀行那覇支店				那覇手形交換所					

注) 貸出金利は、暦年ベース。

注) 不渡発生率は、不渡実数(金額) ÷ 手形交換高(金額) × 100

年度	地銀3行預金量 (信託勘定含む未残)		地銀3行融資量 (信託勘定含む未残)		県内金融機関 の預貯金残高 (郵便貯金は含まない)		沖縄振興開発 金融公庫融資量 (未残)		沖縄県信用保証協会 債務残高	
	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比
2009FY	35,626	8.5	27,551	1.9	49,543	4.7	10,677	4.3	2,204	23.0
2010FY	38,117	7.0	27,573	0.1	52,331	5.1	10,019	6.8	2,094	5.0
2011FY	40,508	6.3	27,969	1.4	54,664	4.5	9,464	5.5	1,880	10.2
2011 8	39,427	8.3	26,526	0.1	54,092	7.1	9,709	6.3	1,955	7.5
9	40,177	8.7	27,137	0.7	54,380	6.9	9,680	5.8	1,952	7.7
10	39,369	8.6	26,633	0.5	53,461	6.7	9,635	5.7	1,950	7.6
11	39,607	8.1	26,626	0.3	54,009	7.2	9,604	5.4	1,931	7.1
12	39,577	8.5	26,774	0.4	53,834	7.2	9,511	5.7	1,930	8.5
2012 1	39,509	8.4	26,854	0.7	53,304	7.0	9,444	5.6	1,904	8.8
2	39,700	7.6	27,116	0.5	53,207	6.0	9,386	5.7	1,882	9.2
3	40,508	6.3	27,969	1.4	54,664	4.5	9,464	5.5	1,880	10.2
4	40,786	5.7	27,108	1.9	54,985	4.8	9,385	5.7	1,839	10.0
5	40,510	4.0	26,919	1.4	54,673	3.6	9,331	5.6	1,783	11.0
6	40,992	1.9	26,960	1.1	56,515	3.2	9,216	5.8	1,758	11.5
7	40,308	2.3	27,022	1.9	55,954	2.9	9,161	6.1	1,749	11.2
8	40,134	1.8	27,163	2.4	P 55,450	P 2.5	9,148	5.8	1,738	11.1
9	40,487	0.8	27,575	1.6	-	-	9,000	7.0	1,746	10.6
出所	琉球銀行		琉球銀行		日本銀行那覇支店		沖縄振興開発金融公庫		沖縄県信用保証協会	

注) Pは速報値。